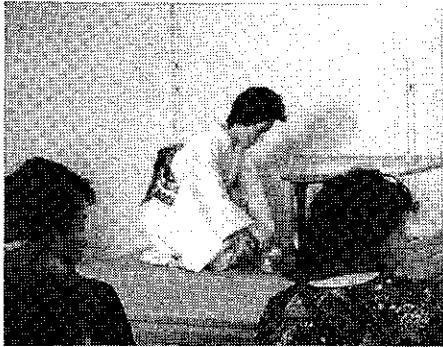


塩田の里交流館 とっこ館

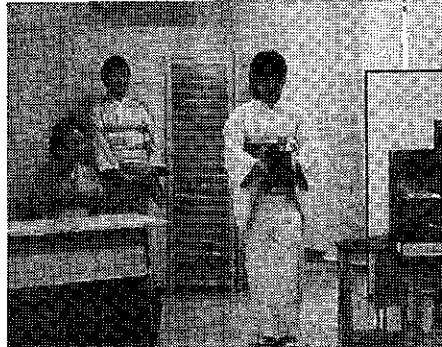
3月3日雛祭りの日に、とっこ館では「第3回ひなまつり茶会」が開催されました。

とっこ館展示場には、塩田地区内よりお借りしたひな人形が並び、とても華やかでした。

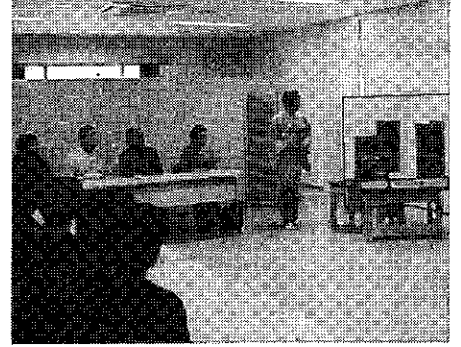
席は立雛席（斉藤宗和）、桃の花席（竹内宗文、堀川宗智）の2席で、約150名余の人が見えられ楽しんで行きました。



桃の花席



立雛席



俳句会

平成22年3月から開催された「とっこ館俳句会」も満3年となりました。会員数も徐々に増え、現在19名で二カ月に一度句会を楽しんでおります。

今後は近隣を散策したり、遠くに出掛けたりして、句材を共有して句を作る「吟行」にも挑戦していきたいと思っております。



白鳥の飛来待ちわぶ浅黄空
敬子

空つ風からの田んぼに吹きまくる
袈裟貫

厚着してさらに重ね着この冬は
英樹

夫入れし朝茶は寒の水ならん
夢女

日脚伸ぶ屋根の発電嬉しそう
英明

初詣で外国人も神妙に
千絵

新品の雪をふわりと靴で押す
せつ子

おしいただく七草粥は胃の薬
義隆

初美空独鈷の里の晴れ渡る
千恵子

売り家と貼らる隣の花八つ手
町代

冬至の日まずは厨の灯を点す
みほ子

積む雪の厚さ重さや老夫婦
竹紫

百歳を目指して歩む雪の道
充作

亡き母の足音のみの雪の道
穂光

松飾りなき簡素化の田舎道
典子

いのち濃き今を大事に冬銀河
真樹

それからと聞かれて黙って餅を焼く
真樹